

## （1）放課後子ども教室の現状と課題について

### ■ 館林市放課後子ども教室の概要

#### ➤ 事業の目的

「放課後子ども教室」の目的は、放課後等に、子どもたちが安全・安心に活動できる場所を設け、勉強やスポーツ・文化活動、地域の人たちと交流活動などを行うことで、子どもたちが心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進するものです。

#### ➤ 対象となる児童

実施する小学校の通学区域に在住する小学1年生から6年生までの児童  
※所属する小学校区以外の放課後子ども教室へは参加できません。

#### ➤ 開設日時

時間：平日の放課後から午後5時まで

回数：おおむね月2回程度

※原則として、学校で授業がない日や給食がない日には実施しません。

#### ➤ 開設場所

公民館や学校の余裕教室など、地区の状況に応じた場所で開設します。

#### ➤ 教室スタッフ

地域のかたがたにご協力いただき運営を行う予定です。生涯学習課および公民館の職員が運営の補助にあたります。

#### ➤ 各教室の内容

教室スタッフが学習・体験・交流活動等、さまざまな事業を提供します。

例：宿題などの自習や各種学習活動

工作や公民館団体による各種体験活動

昔遊び、スポーツ、レクリエーション等の

交流活動

#### ➤ 参加方法

放課後子ども教室への参加は、事前登録制となっております。学校を通じて、放課後子ども教室を実施する小学校区ごとに募集チラシと申込書を配布いたします。内容について児童と十分に話し合ってください、申込書に必要事項を記入し、保険料800円とともに生涯学習課窓口または指定の公民館へお申し込みいただきます。なお、登録期間は年度ごと（4月～翌年3月末）になり、翌年度はあらためて募集を行います。

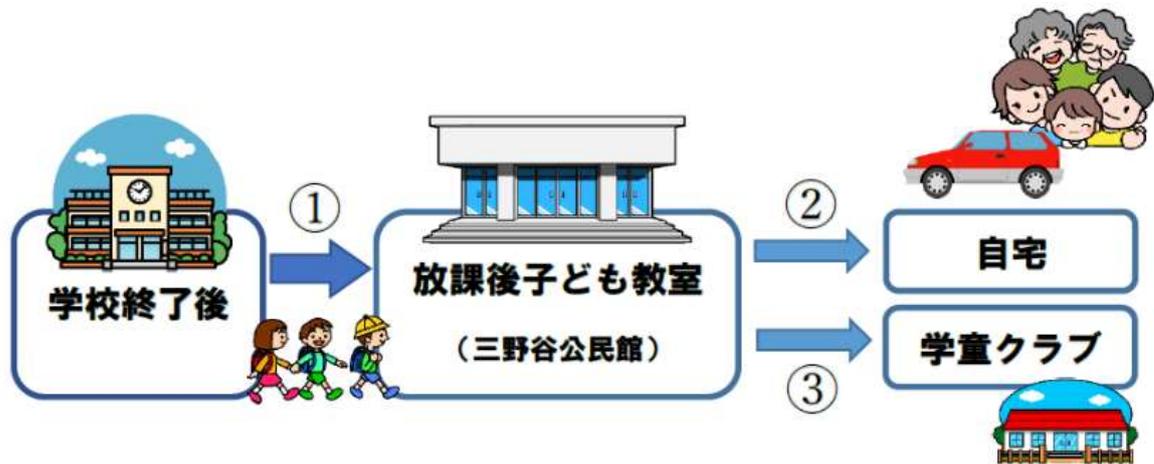
#### ➤ 参加費

参加費は原則無料です。ただし、プログラムによっては材料費をいただくことがあります。

➤ 教室終了後の解散

教室終了予定時間は午後5時です。午後5時20分までに保護者のかた、または家族の大人のかたにお迎えをお願いしています。

学童クラブへ通う児童は、教室スタッフが引率いたします。



■ 効果について

本事業の効果については、おもに以下のようなものが挙げられます。

- ① 放課後における児童の居場所の確保
- ② さまざまなカリキュラムによる体験活動への参加
- ③ 異学年の児童や地域の大人との幅広い交流
- ④ 地域総がかりで子育てをすることによる、地域力の向上
- ⑤ 公民館を会場にすることで、幅広い世代が集う

■ 放課後子ども教室と放課後児童クラブ（学童クラブ）の違いについて

一般的には、以下のような違いがあります。

内容	放課後子ども教室	放課後児童クラブ
提供するもの	体験等の場	生活の場（≒保育的な側面）
保護者の就業による制限	なし	あり
参加費用の必要性	なし	あり
頻度	指定日のみ実施	原則毎日実施

このような事業の目的の違いから、放課後子ども教室は放課後児童クラブの事業を妨げるものではなく、放課後児童クラブと協力・連携し、子ども達の安全・安心な居場所を提供しさまざまな体験ができる場となるように目指しております。

■ 他自治体における実施状況

放課後子ども教室の実施状況についてお示しいたします。

放課後子ども教室を実施している自治体

調査年度：令和2年度

自治体名	実施数	費用	活動時間	活動場所	対象
明和町	2箇所	無料	週3回 下校時間まで	学校	小1～6
千代田町	2箇所	無料	週1回 放課後から午後5時30分まで	学校	小1～6
大泉町	4箇所	無料	週1回 放課後から午後4時30分まで	学校	小1～6
桐生市	11箇所	無料	週1回 放課後1時間程度	学校	小1～2※
佐野市	9箇所	無料	週1～2回 放課後1時間程度	学校	小1～2※
足利市	8箇所	無料	週1回 放課後から午後4時30分まで	学校	小3～6※

※・・・開設地区により対象学年や活動時間が異なる

放課後子ども教室を実施していない自治体

邑楽町・板倉町・みどり市・太田市（放課後児童クラブ補完事業を実施）

■ 現在の活動の状況

➤ 令和2年度

- ◇ 三野谷公民館・第七小学校でのプレ事業の実施
- ◇ 8月7日(金) 芝人形づくり(9名)
- ◇ 10月28日(水) かぼちゃを使ってパンプキンベビーカステラづくり  
(午前10名/午後10名)
- ◇ 3月20日(土) 路線バスに乗って歴史の小径散策(9名)



➤ 令和3年度

- ◇ 三野谷公民館・第七小学校での本格実施(令和3年7月より開始)  
会場 三野谷公民館(必要に応じて第七小学校校庭および体育館)  
対象 第七小学校児童 20名(事前申し込み方式)  
※申し込み多数のため26名まで受付  
頻度 毎月第二・第四月曜日の放課後(春・夏・冬休みは除く)  
実施主体 三野谷地区放課後子ども教室運営委員会  
生涯学習課青少年係(協力:三野谷公民館)  
内容 学習の補助やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動 等  
保険 参加児童には別途スポーツ安全保険(800円)への加入を依頼
- ◇ 7月12日(月) 自己紹介・レク・名札づくり(23名参加)
- ◇ 7月26日(月) びしょぬれ! ペットボトル水でっぼうを作ろう(25名参加)
- ◇ 9月13日(月) ストローロケットを作ろう  
緊急事態宣言期間のため中止
- ◇ 9月27日(月) 足し算カードバトルであそぼう  
緊急事態宣言期間のため中止
- ◇ 10月11日(月) 洗濯ばさみ鉄砲をつくろう(20名参加)
- ◇ 10月25日(月) ドッチビーであそぼう①(七小体育館を借用)
- ◇ 11月8日(月) スポーツ吹き矢にちょうせんしよう(三野谷公民館の利用団体)
- ◇ 11月22日(月) 卓球にちょうせんしよう(三野谷公民館の利用団体)
- ◇ 12月13日(月) 「あ」をさがせ!!
- ◇ 12月27日(月) 牛乳パックでランタンをつくろう
- ◇ 1月10日(月) 【成人の日のためお休み】
- ◇ 1月24日(月) オリジナルの凧をつくろう
- ◇ 2月14日(月) かんたんバレンタインおかしづくり
- ◇ 2月28日(月) ドッチビーであそぼう②
- ◇ 3月14日(月) カラフル変形こまをつくろう

- ◇ 3月25日(金)春休み突入記念企画「炭火焼きパンをしよう」  
昼食代わりに炭火焼きパンを焼いて食べ、午後にドッチビーをして遊びましょ  
う(14時ごろ解散)

■ 今後の予定

館林市第六次総合計画では、「放課後子ども教室の開設数」を令和7年度までに6か所開設することが指標となっております。また、令和4年度の新規開設を目指し、西公民館と第十小学校と協議を重ね、学校施設の利用の内諾をいただくなど準備を進めております。

今後の進め方ですが、学校及び地域のニーズ調査をするなどして、より効果的な展開の方法を検討しながら、関係各所と十分な調整のうえ進めてまいりたいと思います。

年度	新規開設	実施地区・学校
令和3年度	1箇所以上	①三野谷公民館・七小 ②西公民館・十小(準備中)
令和4年度	1箇所以上	①三野谷公民館・七小 ②西公民館・十小 ③開設地区調整中

■ 開設および実施における課題

本事業における開設および実施における課題は以下のとおりとなります。

- 安定的な運営への移行
  - ◇ 地域住民による運営委員会の組織化
  - ◇ さらなる地域の協力者の確保 (有償/無償スタッフによる参加)
  - ◇ 放課後子ども教室スタッフへの研修(東部教育事務所との連携)
  - ◇ 教室内の安全管理
- 関係各所の十分な理解と協力
  - ◇ 地域行事や団体・組織との連携
  - ◇ 地域・学校・家庭への積極的な情報発信
- 新しく開設するための準備
  - ◇ 開設場所の確保(余裕教室や公民館など)
  - ◇ 未実施の各学校・地区への説明
  - ◇ 協力者の先行募集
  - ◇ 学校および地域のニーズ調査

■ 実施における連携体制について

- 公民館  
公民館職員は地域を最もよく知る人材であり、本事業には欠かせません。公民館長

を中心に地域の協力者を探したり、事業の実施の際には教室に直接参加するなどして、生涯学習課と協力して円滑な教室運営に貢献していただいております。

また、公民館活動推進委員会については、公民館の利用団体だけでなく、地区で活躍する多くの団体が所属する大変頼りになる組織です。事前に事業説明をし、活動の趣旨をご理解いただいたうえで、必要に応じて教室への協力依頼をするなどを公民館職員と協力して行っていきたいと考えております。

さらに、公民館を利用する団体はさまざまな活動を行っております。趣味や自己研さんのために活動している団体の方々を「先生」と考え、公民館活動の成果の発表の場の一つとして放課後子ども教室で児童へ指導していただけるよう計画してまいります。

➤ 学校

事業の展開をするために、学校へ事前に説明に伺い、趣旨と具体的活動について説明をして進めております。学校の負担が増えないように配慮しながら、必要に応じて学校施設を借用するなどして、放課後の時間をさまざまな活動にあてられるようにします。

また、コミュニティ・スクールの活動とも連携し、効果的な活動をしていけるよう進めてまいります。

➤ 地域

区長会をはじめとした地域団体および関係各所に説明を実施し、事業趣旨への理解と協力について依頼しております。地域学校協働活動の一環として、子どもを中心とした地域づくりの考え方のもと、放課後子ども教室によって地域が元気になるよう事業を進めていきたいと思います。